



砂丘館ナイトセミナー

夜の砂丘館で
世界を散歩しよう

2024

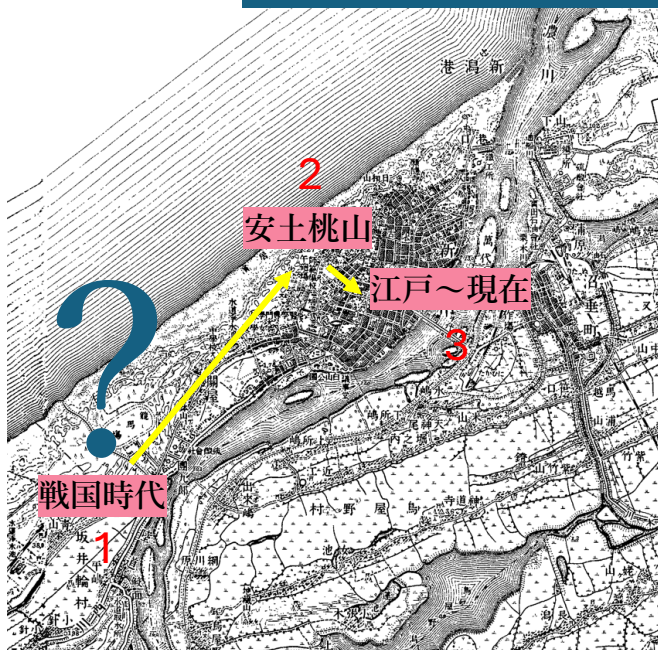
8/30・9/6・13

18:30~20:00

- 8月30日 (金)
新潟の古代~中世
- 9月6日 (金)
「新潟」の登場
- 9月13日 (金)
河口への進出 (中世後期~近世)

坂井秀弥
(さかい ひでや)

1955年新潟市沼垂生まれ。1980年関西学院大学大学院修了、2007年博士(学術)取得。新潟県教育委員会、文化庁、奈良大学を経て、現在、新潟市歴史博物館館長、公益財団法人大阪府文化財センター理事長、奈良大学名誉教授、日本遺跡学会会長。主な著書に『古代地域社会の考古学』(単著、同成社、2008年)『日本海域歴史大系2 古代篇2』(共編著、清文堂、2006年)『邪馬台国からヤマト王権へ』(共著、ナカニシヤ出版、2014年)など。



定員30人 参加料 各回500円
申し込み 砂丘館 Tel.Fax.025-222-2676
メール yoyaku@bz04.plala.or.jp

申し込み開始 7月24日 (水) 9:00~ (メールも)

*いただいた個人情報はこの催しに関する連絡以外に使用しません。

〈私たちは砂丘館を応援しています〉

新潟はどこに あったのか?

〈新潟〉は16世紀(西暦1500年代)に文献に初めて登場します。その頃、信濃川と阿賀野川は、近接した場所で海に注いでいました。信濃川河口部右岸には「沼垂湊(ぬつたりみなと)」があり、阿賀野川河口部右岸には「沼垂湊(ぬつたりみなと)」がありました。〈新潟(ニイカタ)〉は第三の新興の港町として信濃川左岸に姿をあらわします。

現在の新潟(旧新潟町)が1655年(明暦元年)に海岸近くにあった町(古新潟)から移転したことは知られていますが、実は、もっと上流の平嶋之郷(現在の平島の周辺)にさらに以前の新潟の港(新潟津)があったことが近年発見された資料などで明らかになっています。新潟はどのような町としてあらわれ、今の場所に移るに至ったのか。新潟町の初期の歴史を新潟市歴史博物館みなとびあ館長の坂井秀弥さんに3回のセミナーでお話いただきます。



砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体

新潟駅バスターミナル9番線より浜浦町線C2系統、又は18番線より観光循環バスで「西大畑坂上」下車徒歩1分砂丘館には駐車場がありません。近隣の有料パーキング又は公共交通機関をご利用ください。新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。